

平成 30 年度 飯田市立上村小学校の教育方針について

○ 学校教育目標

小規模特認校の指定にあたり、上村小学校では、

「変化の激しい時代をたくましく生きぬく上村の子」を育むために、

『山あいの“小さな小学校”の 世界につながる“大きな挑戦”』 に取り組みます。

○ 2つの教育の柱

- 個の学びを支え、個を伸ばし、個を生かし合う教育
- 地域、世界の様々な人とつながり合い、世界観を広げていく教育

を柱に、5つの特徴ある学びを推進します。

○ 5つの特徴ある学び

教育の2つの柱を実現するための5つの特徴ある学びとは

- 少人数学習、複式学級による個が生きる学び
- ICTと英語教育を充実させた世界とつながる学び
- 違いを認め合い、すべての子どもが大切にされる学び
- 保小中12年間を通じた、豊かな自然と文化の中での学び
- 平和な世界に向けて、積極的に行動できる人を育む学び

○ 子どもたちにつけたい4つの資質・能力

- 自律的、協働的に学ぶ力
- 多様性を尊重し、生かしあう態度
- 異年齢・異文化の人々と積極的に関わる力
- 積極的に社会参画しようとする態度

○ 学校教育目標を生かすためのサポート体制

- ・コミュニティスクールとしての上村小学校を支える組織である「かみむらっこ応援団」（学校運営協議会・平成28年度設置）による教育支援を充実するために、地域の皆さんの学校運営への参画をさらに進めます。
- ・上記の特徴ある学びを実現するために、信州大学教育学部（ICT教育・少人数教育）立教大学ESD研究所及び信州大学「信州ESDコンソーシアム」など、飯田市が力をいれている大学連携や関係諸機関の支援や連携を行います。
- ・また、保小中12年間の一貫教育を推進させるために、上村保育園、和田小学校、遠山中学校、1園2校との積極的な連携を図ります。